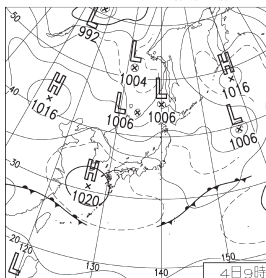


日々の天気図

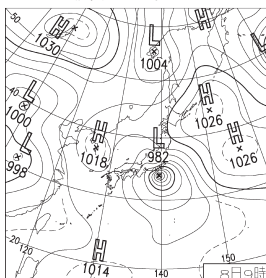
— No. 75

2008年4月

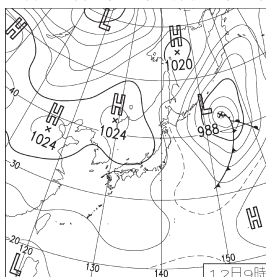
上空の寒気を伴った低気圧がたて続けに南下し、顕著現象相次ぐ。
 ・7日、高知県土佐清水市竜巻。
 ・8日、東日本各地で暴風。
 ・9日、鹿児島県枕崎市で竜巻。
 ・10日、徳島県美波町236.5 mm/24 h。
 ・18日、北茨城市花園197.5 mm/24 h。
 ・19日、宮城県石巻市32.7 m/sの突風。
 (気象庁予報部予報課)



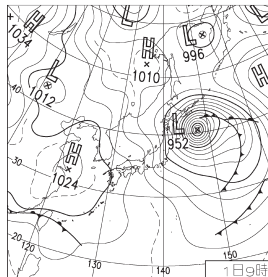
4日(金)清明
 二十四節気の清明。上空に寒気を伴った低気圧が北海道に接近し、北日本はわか雨により気温低め、西日本は高気圧に覆われて気温上昇、サクラの満開が進む。



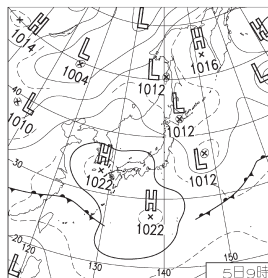
8日(火)発達した低気圧の通過
 上空に寒気を伴った低気圧が急発達しながら本州南岸を通過。東京都八丈町西見35.1 m/sの最大瞬間風速、静岡県伊豆市天城山 230 mm/24 hの降水量、桜島で爆発的噴火が発生。



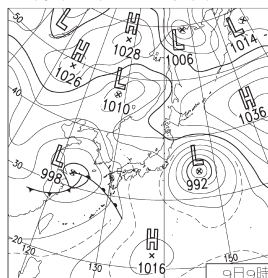
12日(土)北海道に寒気入る
 東～西日本は日本海にある高気圧に覆われて概ね晴れ。北海道ではオホーツク海側を中心に降雪。一方、ソメイヨシノが山形と盛岡で開花し、鹿児島では満開。



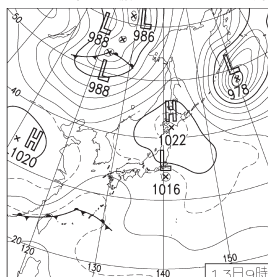
1日(火)急発達した低気圧
 低気圧が日本の東の海上で発達。北海道東部など北日本を中心に大荒れ、東日本も荒れた天気となり、各地で陸・海・空の便に乱れ、北陸を中心に日本海側は雪や雨となり所々で雷。



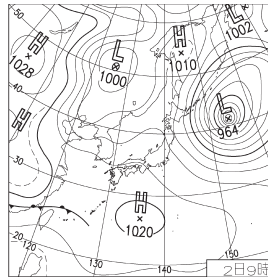
5日(土)仙台、新潟サクラ開花
 低気圧の影響で北海道東部は曇りや雨。本州は高気圧に覆われてさわやかな天気。前線近傍の南西諸島は雨、九州南部は曇りで午後所々で雨。新潟市、仙台市でサクラ開花。



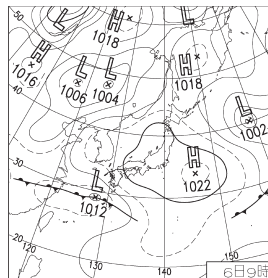
9日(水)低気圧は東海上へ
 近畿～関東は晴れ、寒気を伴った低気圧が接近し九州南部～南西諸島で活発な積乱雲通過。鹿児島県西之表市62.5 mm/1 hは4月の極値、枕崎市では竜巻発生(藤田スケール:F0)。



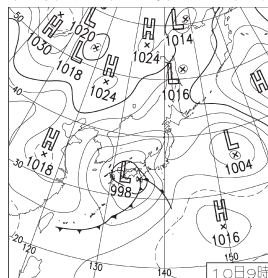
13日(日)西から天気崩れる
 北海道と東北北部は高気圧に覆われ晴天。一方、東日本から西日本にかけて前線や低気圧の影響で曇りや雨。日中の気温が低く3月中旬の所も、山形県酒田市でソメイヨシノ満開。



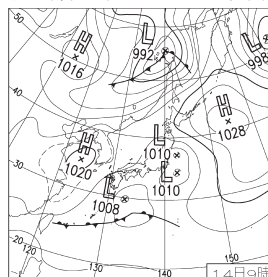
2日(水)北陸四県でサクラ開花
 北海道東部では発達した低気圧の影響が残る中、関東以西は日本の南の高気圧に覆われて暖かな南風で穏やかな一日。天気変化早く、北日本では次の低気圧の東進で天気下り坂。



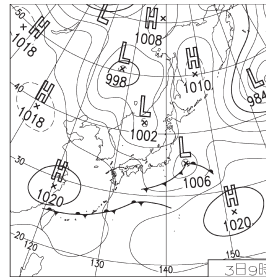
6日(日)日本海側もサクラ満開
 東シナ海の前線や低気圧の影響で南西諸島～九州南部は雨。鹿児島県奄美市名瀬で42.0 mm/1 hなど激しい雨となった所も。本州付近は引き続き高気圧に覆われ、乾燥した晴天。



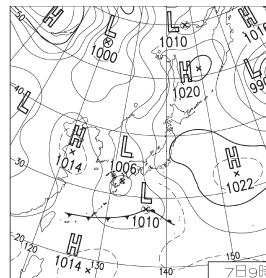
10日(木)四国で猛烈な雨
 南岸を低気圧通過、西・東日本の太平洋側に活発な雨雲かか。徳島県美波町で90 mm/1 hの猛烈な雨等四国～紀伊半島にかけて所々で大雨。長野市、秋田市でソメイヨシノ開花。



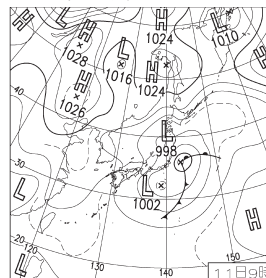
14日(日)緩やかに天気回復
 黄海の高気圧が張り出し、西～東日本は西から次第に晴れ。北陸～北日本は東海上の低気圧や寒気を伴った気圧の谷が通過し、曇りや雨。高松市、佐賀市でキアゲハ初見。



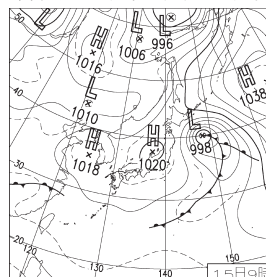
3日(木)寒冷低気圧南下
 上空に寒気を伴った低気圧が北海道に接近し北日本の所々で発雷。桜島で小規模な噴火。鳥根県隠岐の島町西郷でソメイヨシノ開花し西日本のソメイヨシノ咲きそう。



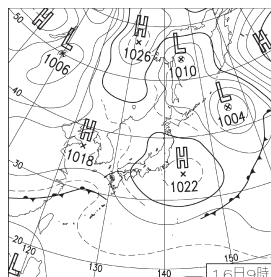
7日(月)低気圧本州南岸を東進
 九州南部の低気圧が発達しながら東進、高知県土佐清水市三崎では80.5 mm/1 hの猛烈な雨、竜巻発生(藤田スケール:F0)。北日本は晴れ、九州では次第に回復。



11日(金)東北南部で満開の便り
 低気圧は関東の東の海上を北東進。東～西日本の日本海側や北日本は低気圧や寒気の影響で曇りや雨。太平洋側は西から次第に晴天域広がり、最高気温は5月中・下旬並の所も。

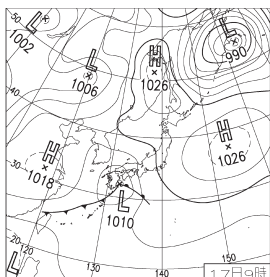


15日(火)台風第1号発生
 南シナ海で台風が発生。北海道と南西諸島の一部で曇りや雨のほかは、本州中部の移動性高気圧に覆われて全国的に穏やかな晴天。サクラ前線北上中、秋田市で満開。



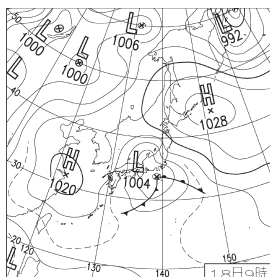
16日(水)東北太平洋側で夏日

北日本は晴れ、関東東海上の高気圧からの南風もあって、最高気温は福島市27.0℃など夏日の所も。西日本～南西諸島は雨。鹿児島県奄美市笠利は70.5mm/1hの非常に激しい雨。



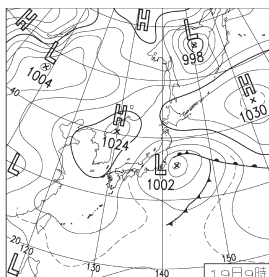
17日(木)低気圧による大雨

前線を伴った低気圧が九州南部を通過し四国沖をゆっくり東に進む。沖縄県竹富町大原で91mm/1hの降水を観測。青森市でサクラ開花。盛岡市でサクラ満開。



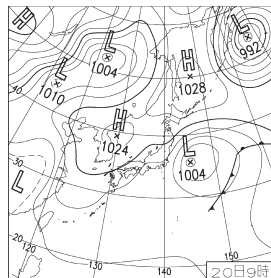
18日(金)東日本の大風

前線を伴った低気圧がゆっくり本州の南海上を通過。東京都大田区で最大風速23m/sの強風。広範囲で大雨となり、茨城県北茨城市花園で197.5mmの日降水量を記録。



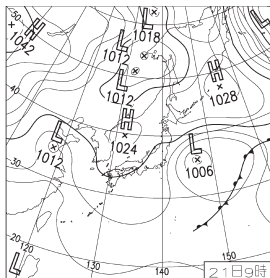
19日(土)動きの遅い低気圧

宮城県、福島県は150～200mm/日の大雨。関東や東北の太平洋側は強風継続。宮城県石巻市で最大瞬間風速32.7m/s。北海道は朝から晴れて初夏の陽気。美瑛市で最高気温24.2℃。



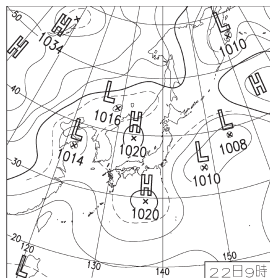
20日(日)北海道は夏の暑さ

東海上の低気圧はゆっくり東進。日本海の高気圧に日本付近は覆われ、全国的に概ね晴れ。東北南部と関東は北東風の影響で曇りや雨。北海道今金町の最高気温は真夏並の26.2℃。



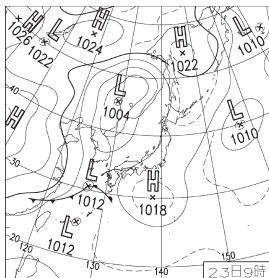
21日(月)北海道 連日の薄暑

東海上の低気圧は動き遅く、東北太平洋側～関東の一部で時々曇りや小雨。南西諸島は曇りで夜は雨。他は晴れて気温上昇。札幌市は平年より2週間早いサクラ開花。



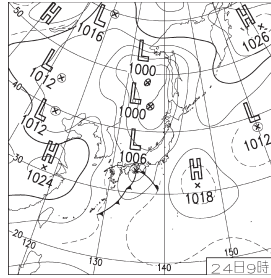
22日(火)関東 1週間ぶり晴れ

高気圧に覆われ南西諸島を除き晴れ。気温は広島県安芸太田町加計、大分県日田市三本松で共に28.1℃を記録。先島諸島では低気圧の影響で雨。与那国島では短時間に強い雨を観測。



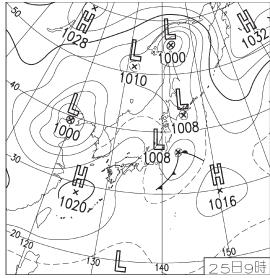
23日(水)旭川開花史上1位

気圧の谷の接近で西日本は曇りや雨の天気。その他の地方は高気圧に覆われ概ね晴れ。この晴天のもとで北海道旭川市のエゾヤマザクラは史上1位の早さで開花。



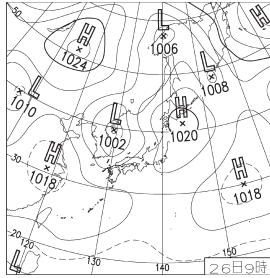
24日(木)全国的に雨

日本の南北を前線や低気圧が通過。雨の地域は西から東に移動。高知県土佐清水市三崎57.5mm/1h、室戸市佐喜浜52mm/1hの非常に激しい雨。九州～沖縄は日中晴れ間が戻る。



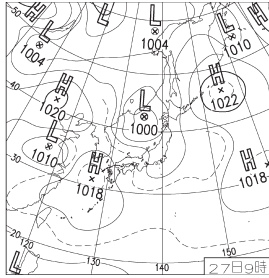
25日(金)天気回復

低気圧は関東の東に抜ける。北陸から北は初め雨残る。天気は西日本から回復。北日本も晴れてくる。日中はほぼ平年並の気温。札幌市でソメイヨシノ平年より13日早く満開。



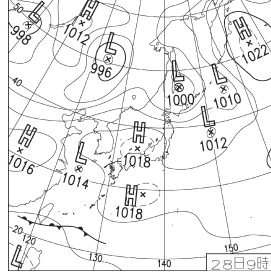
26日(土)羽田～三宅島 空路再開

上空に寒気を伴う低気圧が日本海へ進み、気圧の谷が本州南岸をそれぞれ東進。北海道や中国・四国以西で晴れた他は、大気の状態が不安定で曇りや雨となり、東海・北陸は所々雷雨。



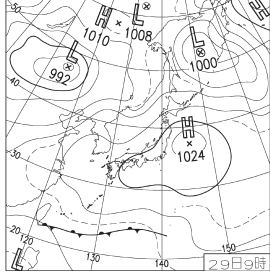
27日(日)北日本、やや不安定

寒気を伴った低気圧が日本海を北東へ進み、北日本では雨。一方、移動性高気圧が九州南海上へ進み、西日本～東日本は概ね晴れたが、関東は湿った北東風により、所々で曇り。



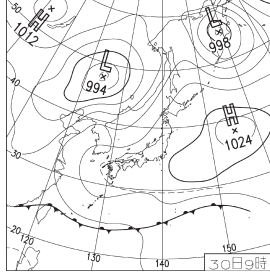
28日(月)移動性高気圧

北日本は引続き寒気を伴った低気圧の影響で曇りや雨。西日本の移動性高気圧は徐々に勢力を強め東日本へ。関東は気圧の谷の影響が残ったため天気の回復が遅れ曇りの多い一日。



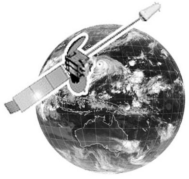
29日(火)行楽日和

日本付近は、高気圧に覆われ広範囲で穏やかな晴天。北海道や沖縄の一部は曇りや雨。沖縄県石垣市伊原間で24.5mm/1h。北海道留萌市で平年より12日早くサクラ開花。



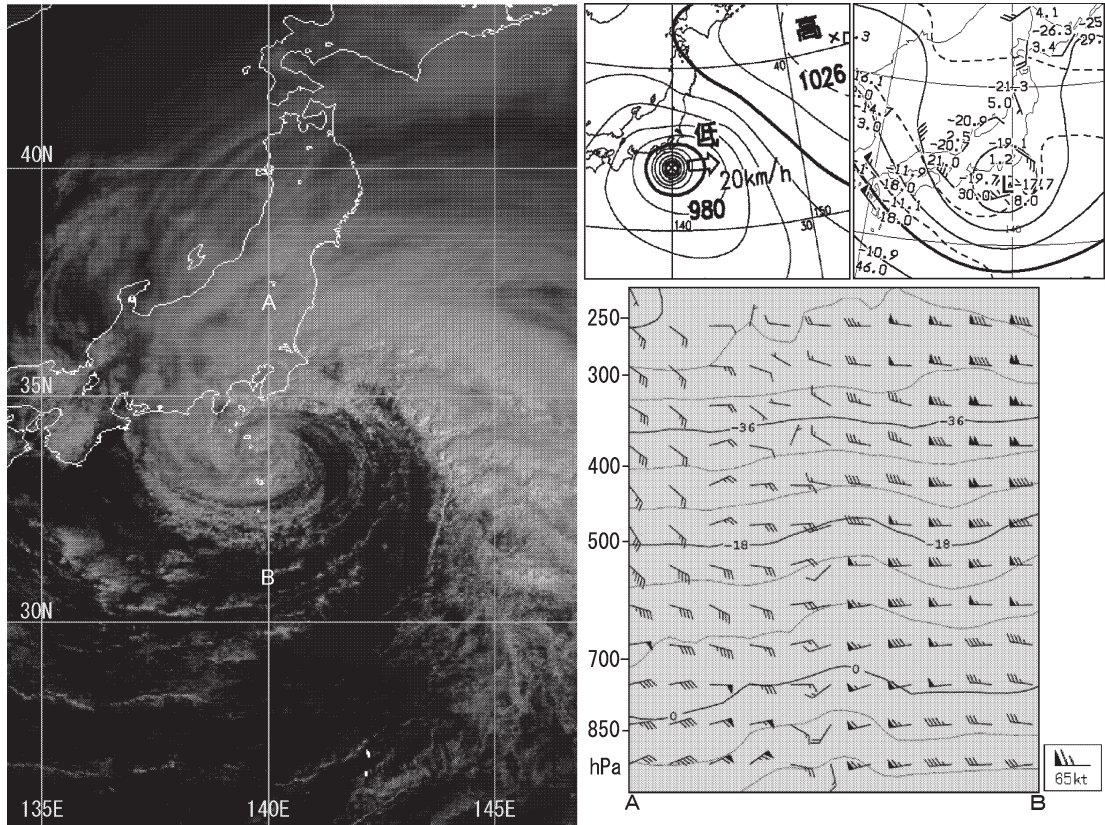
30日(水)東京今年初めての夏日

帯状高気圧に覆われた日本付近は広範囲で穏やかな晴天。東北南部～九州は軒並み夏日。兵庫県豊岡市、京都府舞鶴市で共に30.5℃の真夏日。北海道や沖縄の一部は曇りや雨。



今月のひまわり画像—2008年4月

関東の南海上で急速に発達した低気圧



左図は8日10時の可視画像、右図の上段は8日9時の地上天気図・500 hPa 高層天気図、右図の下段は8日10時の毎時大気解析による東経140度上の断面図（風、等温線（°C）、左図のA—Bに対応）

4月は日本付近に寒冷低気圧がたびたび南下した。その中で8日に関東の南海上で急速に発達した低気圧は珍しいタイプだった。この低気圧は、7日21時～8日9時の12時間に、20 hPa（1000 hPa から980 hPa）発達した。8日10時の可視画像は、関東の南海上に低気圧に伴う渦状の対流雲域をはっきり捉えている。その渦の東側にはドライスロット（乾燥域）が巻き込んでいて雲がほとんどなく、その外側の関東南東海上には湿潤暖気の流入と下層収束により、活発な積乱雲が発生している。

8日9時の500 hPa 高層天気図では、一見関東付近に寒冷低気圧が存在しているかのように見える。しか

しよく見ると、低気圧の中心付近の八丈島は周辺よりも気温が高くなっている。8日10時の東経140度に沿った毎時大気解析の断面図では、低気圧の中心付近の気温は地上から約450 hPa まで周囲よりも高く、風速は850 hPa より下層で強く、熱帯低気圧のような特徴を持っていることがわかる。

この低気圧はゆっくり東進したため、関東南部は長時間にわたって北東の強風と強い雨に見舞われ、陸や空の交通機関は大きく乱れた。特に東京国際空港では強い横風と滑走路に水溜りができたこともあって154便が欠航した。

（気象庁総務部航空気象管理官付 原 基）